

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|---|-------------------|---|------------------------------|-----|-----------|---|----------|----------|----------|
| 事業名 | No.16 湿地交流事業 | | | 担当課 | 環境政策課 | | 予算費目名 | 款 | 項 | 目 | |
| | | | | | | | | 08 | 03 | 04 | |
| 事業概要 及び目的 | 湿地の保全、水鳥の保護に向けた協力、情報交換、普及啓発などを図るため、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加及び、オーストラリア・ブリスベン市との湿地提携を実施する。 また国際協力の場として、東アジア・オーストラリア地域・シギ・チドリ類重要生息地ネットワークへ参加する。 | | | 成果指標 | 交流回数 | 年1回 | 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 |
| | | | | 計画値 | ブリスベン市・習志野市の相互交流または市町村会議への参加 | | 予算額(単位:円) | 2,531,000 | 146,000 | 403,000 | 31,400 |
| | | | | | | | 決算額(単位:円) | 1,368,610 | 40,000 | 183,055 | |
| | | | | | | | 従事職員数 | 2 | 2 | 2 | |
| 事業の 位置づけ | 章 | 2 | 都市と自然が共生したまち | ★左記施策(号)との結び付き ブリスベン市との湿地交流を通じて、湿地保全や水鳥の保護に係る情報の交換を行い、生態系保全に資する。 また、シギ・チドリ類重要生息地ネットワークに参加して国際交流を図る。 | | | 従事延べ日数 | 65 | 60 | 60 | |
| | 節 | 2 | 自然環境の保全・活用 | | | | 民間活力の導入 | 現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input type="checkbox"/> 余地なし | | | |
| | 項 | 1 | 自然環境の保全・活用 | | | | | 相手は? : <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等 | | | |
| | 号 | 3 | 渡り鳥を通じた国内外との協力の推進 | | | | | 形態は? : | | | |

2. 進捗状況 平成 21 年 7 月 27 日記入 平成 22 年 6 月 10 日記入 平成 23 年 5 月 10 日記入

| 年度 | 21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価) | | | | 22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価) | | | | 23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価) | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|------------------|----|--------------------------|---|----|------------------|--------------------------|---|--------------|----|--------------------------|---|--------------------------|--|--|---|--|--|--|
| 実施計画上の予定 | 実施 | 実施計画の予定 年度終了後 | 実施 | ★継続している事項、 未着手事項がある理由 | 実施計画 上の予定 | 実施 | 実施計画の予定 年度終了後 | 実施 | ★継続している事項、 未着手事項がある理由 | 実施計画 上の予定 | 実施 | 実施計画の予定 年度終了後 | 実施 | ★継続している事項、 未着手事項がある理由 | | | | | | |
| 完了した事項 | <ul style="list-style-type: none"> 第3次5カ年行動計画の策定に向けて、ブリスベン市を訪問し、意見交換を行なった。 ラムサール条約登録湿地関係市町村会議へ参加し、意見交換を行なった。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 第3次5カ年計画を策定し、ブリスベン市と調印した。 谷津干潟の日に、ブリスベン市より3名が訪問し、講演会及び意見交換を実施した。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 先方の担当者が不在となり、協議が一時中断したため。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 谷津干潟の日に、ブリスベン市より3名が訪問し、講演会及び意見交換を実施し交流を図った。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会との調整に時間を要したため。 | | | |
| 継続している 事項 | ・特になし | | | | ・特になし | | | | ・特になし | | | | ・特になし | | | | | | | |
| 未着手事項 | ・特になし | | | | ・ブリスベン市との教育交流に係る覚書の締結 | | | | ・ブリスベン市との教育交流に係る覚書の締結 | | | | ・ブリスベン市との教育交流に係る覚書の締結 | | | | | | | |
| 改善案 | 特になし | | | 成果指標 実績値 1 回 達成率 100% | 第3次5カ年計画の見直しを含む湿地交流の具体的な手法を再検討する。 | | | 成果指標 実績値 1 回 達成率 100% | 第3次5カ年計画の見直しを含む湿地交流の具体的な手法を再検討する。 | | | 成果指標 実績値 1 回 達成率 100% | | | | | | | | |

3. 今後の方向性 ※課内協議を経て管理職が記入してください。 平成 21 年 7 月 29 日協議実施 平成 22 年 7 月 29 日協議実施 平成 23 年 5 月 10 日協議実施

| 今後の方向性 | 平成 21 年 7 月 29 日協議実施 | | | | 平成 22 年 7 月 29 日協議実施 | | | | 平成 23 年 5 月 10 日協議実施 | | | | | | |
|--|---|-----|------|------|---|---------|-----|------|---|-----|---------|-----|------|------|-----|
| *根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。 | 成果の方向性 | 拡充 | 現状維持 | 縮小 | 休廃止 | 成果の方向性 | 拡充 | 現状維持 | 縮小 | 休廃止 | 成果の方向性 | 拡充 | 現状維持 | 縮小 | 休廃止 |
| | コストの方向性 | 休廃止 | 縮小 | 現状維持 | 拡充 | コストの方向性 | 休廃止 | 縮小 | 現状維持 | 拡充 | コストの方向性 | 休廃止 | 縮小 | 現状維持 | 拡充 |
| ★上記を選択した根拠 第3次5カ年行動計画の締結にむけブリスベン市を訪問し意見交換と協議を行い、行動計画に沿った取り組みを実施することを両市で合意をしているため。 | | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○ | | |
| ★上記を選択した根拠 自然観察センターやボランティアによる交流への移行等など具体的な実施手法を再検討する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ★上記を選択した根拠 第2次5カ年行動計画を踏まえ、市、自然観察センター、ボランティアの役割分担等を確認し、今後の行動計画に反映させていく。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前年度改革案の実施状況 | ■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 | | | | ■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 | | | | ■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 | | | | | | |